

本 会 記 事

一般社団法人日本植物病理学会令和4年度第3回評議員会議事録

日 時：2022年11月19日（土）14:00～16:30

開催方法：オンライン開催（Zoom ミーティング）

出席者：

秋光和也，有江 力，磯貝雅道，一瀬勇規，岩井 久，岩波 徹，大島一里，大島研郎，大藤泰雄，金山晋治，兼松聡子，北 宜裕，児玉基一朗，近藤則夫，佐藤 衛，塩見 寛，宍戸雅宏，志村華子，須賀晴久，鈴木信弘，高垣真喜一，高野義孝，高橋英樹，瀧川雄一，竹下 稔，竹本大吾，中馬いづみ，津田新哉，東条元昭，土佐幸雄，中島 隆，中島千晴，中保一浩，長谷 修，濱本 宏，曳地康史，藤 晋一，堀田治邦，三瀬和之，守川俊幸，森山裕充，山次康幸，吉田重信，渡辺京子，増田 税会長，平塚和之副会長，宮田伸一庶務幹事長，

以上評議員47名（定員54名，欠席者7名：青木孝之，菊武和彦，久保康之，小林括平，柘植尚志，古屋成人，眞岡哲夫）

幹事：大里修一副庶務幹事長，晝間 敬会計幹事，煉谷裕太郎副会計幹事，石橋和大庶務幹事

I. 審議事項

1. 会長指名評議員の登用について（増田会長）

・会長指名評議員に，中馬いづみ氏および志村華子氏が登用されることが報告され，承認可決された。

2. 令和5年度功績者の推薦について（柘植功績者推薦委員長）

・名誉会員に桑田茂氏が推薦されることが報告され，承認可決された。

・永年会員に名畑清信氏，岩田道頭氏，岡本博氏が推薦されることが報告され，承認可決された。

3. 令和5年度論文賞の選定について（高橋編集委員長）

・令和5年度論文賞として以下の2報が選定されたことが報告され，承認可決された（筆頭著者ABC順）。

Yoshihiro Inoue, Trinh Thi Phuong Vy, Soichiro Asuke, Yoshihiro Matsuoka & Yukio Tosa (2021) Origin of host-specificity resistance genes of common wheat against non-adapted pathotypes of *Pyricularia oryzae* inferred from D-genome diversity in synthetic hexaploidy wheat lines. *Journal of General Plant Pathology* 87: 201–208.

Nobumitsu Sasaki, Tomoya Murakami, Nanae Yoshimoto,

Ken Komatsu, Yasuhiko Matsushita & Hiroshi Nyunoya (2021) Cell-death-independent antiviral response mediated by N resistance factor in *Nicotiana benthamiana* involves inhibited localization of tobamovirus movement protein to plasmodesmata. *Journal of General Plant Pathology* 87: 170–177.

4. 令和5年度学会賞，学術奨励賞の選定について（増田賞選考委員長）

・委員会から選考経過が報告され，学会賞に3名，学術奨励賞に3名が選出されることが報告され，承認可決された。選考結果は以下の通りであった（氏名のABC順）。

学会賞：

兼松 聡子氏「マイコウイルスを用いた果樹類白紋羽病の制御技術に関する研究」

中屋敷 均氏「いもち病菌の病原性に関する分子生物学的研究」

吉田 重信氏「土壌伝染性病害の予防的管理に関する研究」
学術奨励賞：

藤原 和樹氏「タマネギべと病菌等の病原体の検出・診断技術の開発」

日恵野 綾香氏「土壌伝染性植物病原菌の検出に関する研究」

キム オッキョン氏「植物ウイルスの同定，性状解明及び多様性解析」

5. 令和5年度日本農学賞受賞候補者の選定および推薦について（増田賞選考委員長）

・委員会から選考経過が報告され，土佐 幸雄氏を当学会より推薦することが報告され，承認可決された。

6. 日本農学賞受賞候補者選考細則等の改定について（宮田庶務幹事長）

・「日本農学賞受賞候補者選考細則」および「日本農学進歩賞受賞候補者選考細則」の一部改定が提案され，承認可決された。

7. 令和6年度大会開催地について（増田会長）

・令和6年度の本会大会を仙台国際センター（宮城県）において開催することが提案され，承認可決された。

8. 令和5年度 事業計画書および収支予算書について（宮田庶務幹事長，晝間会計幹事，煉谷副会計幹事，高橋編集委員長）

・令和5年度の事業計画，収支予算案および学会報編集計画案について報告され，承認可決された。

9. 令和4年度決算見込みについて（晝間会計幹事，宮田庶務幹事長）
 - 東北部会の活動経費に関する不足補てん申請に関する説明と令和4年度の決算見込みが報告され，承認可決された。
 10. 令和4年度大会準備状況について（岩波大会委員長）
 - 令和5年度大会の開催スケジュールと準備状況が説明されるとともに，オンライン（オンデマンド方式）での開催方針が提案され，承認可決された。
 11. 日本植物病理学会大会と定時総会の分離について（増田会長，山次評議員）
 - 当会の一般社団法人化により総会開催時期を3月末に設定せざるを得ない状況を踏まえ，大会と総会を分離するための検討過程が報告されるとともに，令和5年度総会における大会規程を一部改訂する方針が提案され，承認可決された。
 12. JGPPおよび日植病報投稿規程の改定について（高橋編集委員長）
 - 昨年度に承認されたJGPP投稿料無料化等の令和5年度からの実施に伴う投稿規程の改定が提案され，承認可決された。
 13. 日植病報連絡票ならびに学会入会案内の改定について（高橋編集委員長）
 - 令和4年3月に改訂された会員規程の令和5年度からの適用に伴う日植病報連絡票ならびに学会入会案内の改定が提案され，承認可決された。
 14. 男女共同参画にかかるシンポジウム開催について（兼松男女共同参画推進委員長）
 - 令和5年度大会の2日目に「ダイバーシティ推進セミナー」を開催することが提案され，承認可決された。
 15. 令和6年度大会開催会場予約に関する仮払金増額申請について（高橋評議員）
 - 令和6年度大会の開催会場である仙台国際センター令和5年12月までに本予約として会場費を支出する必要があることから大会準備にかかる仮払金の増額が申請され，承認可決された。
- ## II. 報告事項
1. 令和5年度副会長候補者選出選挙の結果について（北選挙管理委員長）
 - 令和5年度副会長候補者に一瀬 勇規氏が選出されたことが報告された。
 2. 令和4年度日本農学進歩賞の受賞について（宮田庶務幹事長）
 - 本学会が推薦した岡野 夕香里氏と橋本 将典氏の受賞が決定したことが報告された。
 3. 令和4年度大会開催報告（近藤前大会委員長，晝間会計幹事）
 - 令和4年度大会はオンラインで開催されたことが報告された。
 4. 令和4年度部会・研究会・談話会開催状況（宮田庶務幹事長）
 - 部会・研究会・談話会が順調に開催される中，多くの部会等で対面開催を再開したことが報告された。
 5. 編集委員会報告（高橋編集委員長）
 - 2022年1～10月受付分の投稿原稿数として，英文誌225本（受理率17.13%），和文誌7本（同100%）であることが報告された。
 - 2021年のJGPPは自己引用率が下がったもののImpact Factorは1.217となったことが報告された。
 6. JGPP領有権記載の変更について（高橋編集委員長）
 - JGPP掲載論文における領有権問題に関する注釈について，令和4年5月以降は各論文のPublisher's Noteに追記されていたが，Springer-Nature社からの申し出により，10月以降はホームページおよび冊子末尾のSociety's Noteに記載されていることが報告された。
 7. 病名委員会報告（佐藤病名委員長）
 - 病名委員会より病名の審査状況，病名目録（追録版）の編集およびHPへの掲載，病名データベースの更新状況に加え，病名目録改定版の編集に関する課題点が報告された。
 8. 将来問題検討委員会報告（増田将来問題検討委員長）
 - 総会と大会の分離に関する検討，科研費（研究成果公開促進費）申請への対応，ダイバーシティ対応，日本農学賞の推薦候補者選出法などについての検討結果および状況が説明された。
 9. 技術士対応委員会・5学会技術士育成推進委員会報告（濱本委員長）
 - 令和3年度の技術士合格者，令和4年度技術士試験対策セミナー等の開催，技術士対応委員会等の開催状況が報告された。
 10. 日本微生物学連盟報告（山次運営委員）
 - 2022年6月8日および9月21日に日本微生物学連盟理事会が開催されたことが説明され，野本賞への積極的な推薦・応募について依頼された。
 11. 日本農学会報告（宮田庶務幹事長）
 - 2022年第2回日本農学会運営委員会が9月7日にウェブ会議で開催され，日本農学賞の受賞候補者の推薦（11月末日）について報告された。

12. 日本植物保護科学連合報告（宮田庶務幹事長）
- ・学術の中長期研究戦略の公募への対応として、植物保護科学分科会からの提案に当学会からの提案が反映されたことが報告された。
 - ・12月3日に「持続的な食料保障に向けた植物保護科学の新技术」のテーマでオンライン開催され、本学会からは秋本千春氏が講演することが報告された。
13. 国際化対応委員会報告（有江国際化対応委員長）
- ・ACPPの開催時期は未定、日韓合同シンポジウムの次年度以降に検討を再開、IAPPS主催のIPPSは2024年にアテネで開催予定であり渡航助成があることなどが報告された。
14. 3学会会長懇談会報告（増田会長）
- ・農学賞候補者の推薦方法について、三学会が協力する前提のもと、今年度からそれぞれ候補者を出していることが報告された。
15. 男女共同参画推進委員会報告（兼松男女共同参画委員長）
- ・本年度より委員会の体制が強化されたこと、「ダイバーシティ推進に関するアンケート」の実施ならびに会長・副会長ら4名のメッセージ動画を作成するなどの活動が報告され、アンケートの分析結果が説明された。
16. 日本植物防疫協会との業務委託契約更新について（宮田庶務幹事長）
- ・今年度と同様に業務委託契約の更新を行ったことが報告された。
17. JGPP出版契約の更新について（晝間会計幹事）
- ・2023年以降の契約について、「ウェブ購読のみ」の新会員種別に移行予定の人数が多く、冊子体の購読数が約1/6となり大幅な経費削減となることが報告された。
18. 令和5年度からの新会費種別への移行について（宮田庶務幹事長）
- ・令和5年1月1日から施行される会員規程に設置された「ウェブ購読のみ」の新会員種別への移行手続きを7月から9月にかけて実施し、約1,500名の会員・学生会員が移行予定であると報告された。
19. その他
- ・山次前庶務幹事長より、名誉会員の故・小林享夫氏より生前に学会にご寄付をいただき、ご遺族に相談のうえ学術奨励基金に組み入れたことが報告された。

一般社団法人日本植物病理学会令和4年度第3回理事会議事録

日 時：令和4年11月19日（日）16:35～17:15

開催方法：オンライン開催（Zoom ミーティング）

出席者：

理事：増田 税会長（代表理事）、平塚和之副会長（代表理事）

有江 力、一瀬勇規、中島 隆、高橋英樹、高野義孝、竹下 稔、瀧川雄一

以上理事10名（現員11名、欠席者1名、眞岡哲夫）

監事：濱本 宏、大島研郎、渡辺京子

以上監事3名（現員3名、欠席者0名）

オブザーバー：宮田伸一、大里修一、晝間 敬、煉谷裕太郎、石橋和大（幹事5名）

審議事項

1. 令和5年度事業計画書および収支予算書について
2. 令和4年度第3回評議員会の審議事項の確認

報告事項

1. 代表理事の職務執行状況の報告
2. 令和4年度第2回理事会議事録の確認
3. その他

議事経過の概要

11月19日、オンライン会議で開催された令和4年度第3回評議員会の終了後、引き続き評議員を兼任する理事10名、監事3名が参加していることを確認した。

定款第32条により、増田 税会長が議長となった。理事および監事の出席数から、定款33条の規定を満たしており、本会の成立を報告した。続けて議長は、本理事会はテレビ会議システム（オンライン会議システム）を用いて開催することを説明し、かつ出席者の映像及び音声は即時に他の出席者に伝わり、出席者が一堂に会するのと同等の相互に十分な審議を行うことができる状態となっていることが確認された。

1. 第1号議案 令和5年度事業計画書および収支予算書について

議長より、資料に基づき、令和5年度事業計画書および収支予算書の説明がなされた。議長の指示により、オブザーバーの宮田庶務幹事長および晝間会計幹事より補足説明がなされた。審議の中で日付等の修正を行ったうえで、議長が本件の承認を求めたところ、全員異議なく、本件は承認可決された。

2. 第2号議案 令和4年度第3回評議員会の審議事項の確認

議長より、同日、本会に先立って開催された令和4年度第3回評議員会において、審議承認された以下の5件、

- 1) 学会賞, 学術奨励賞の受賞者候補の決定
- 2) 日本農学賞候補者の推薦
- 3) 令和4年度大会の会計報告
- 4) 令和5年度大会のオンライン開催
- 5) 令和6年度大会の会場予約に関する仮払金増額申請について説明がなされた. 議長より, 理事会での承認を求めたところ, 全員異議なく, 5件は承認可決された.

3. 報告事項

議長より職務執行状況の報告として, 令和4年度の事業計画に沿って遅滞なく事業計画を進めていることが説明された. また, 議長の指示により, オブザーバーの宮田庶務幹事長より令和4年度第2回理事会議事録の報告等が行われた.

以上をもって, 終始異常なく議事が終了したので, 議長は閉会を宣言し, 17:15 散会した.

令和5年度事業計画書ならびに収支予算書

1. 行事案

- (1) 学会報(英文誌第89巻1~6号, 和文誌第89巻1~4号)を発行する.
- (2) 大会, 部会, 談話会, 研究会等を開催する.
 - 1) 大会: 令和5年3月27~29日 東京農業大学(厚木市)
 - 2) 北海道部会: 令和5年10月12~13日 北海道大学(札幌市)
 - 3) 東北部会: 令和5年9月中~下旬 弘前大学(弘前市)
 - 4) 関東部会: 令和5年9月頃 玉川大学(東京都)
 - 5) 関西部会: 令和5年9月23~24日 近畿大学農学部(奈良市)
 - 6) 九州部会: 令和5年11月頃 長崎県内を予定
 - 7) 第32回殺菌剤耐性菌研究会シンポジウム: 令和5年3月30日 東京農業大学(厚木市)(大会がオンラインの場合, オンライン開催)
 - 8) 第22回植物病原菌類談話会: 令和5年3月29日 東京農業大学(厚木市)(大会がオンライン開催の場合,

4月以降にオンライン開催予定)

- 9) 第57回植物感染生理談話会: 令和5年9月4~6日 岡山大学(岡山市)
- 10) 第15回植物病害診断研究会: 令和5年秋予定 開催場所未定
- 11) EBC研究会ワークショップ2023: 令和5年9月頃 開催場所未定
- 12) 第17回植物病害診断教育プログラム: 令和5年9月4~8日 岐阜大学
- (3) 定時総会: 令和5年3月 令和4年度事業報告・決算承認および令和5年度理事選任
 理事会: 令和5年度第1回(令和5年2月)定時総会議案審議
 令和5年度第2回(令和5年3月)代表理事選任
 令和5年度第3回(令和5年11月)令和6年度事業計画・予算承認
 評議員会: 令和5年度第1回(令和5年2月)定時総会議案審議
 令和5年度第2回(令和5年3月)令和5年度委員等選任
 令和5年度第3回(令和5年11月)令和6年度事業計画・予算承認
- (4) 学会賞, 学術奨励賞, 論文賞等の選考を行う.
- (5) 大会において学生優秀発表賞の選考を行う.
- (6) 名誉会員, 永年会員の推挙を行う.
- (7) 令和6年度理事候補者(次期副会長候補者)および令和6~7年度の監事候補者の選出を行う.
- (8) 令和6年度理事候補者(次期会長候補者, 次期副会長候補者)を総会へ推薦し, 次期会長候補者, 次期副会長候補者として理事会への推薦を行う.
- (9) 令和6~7年度評議員候補者の選出を行う.
- (10) 日本農学賞, 日本農学進歩賞, 日本学術振興会賞等の受賞候補者の推薦を行う.
- (11) その他

2. 一般会計収支予算書（令和5年1月1日から令和5年12月31日まで）

(単位：円)

| 科 目 | 予 算 額 | 前年度予算額 | 増 減 |
|-------------------|-------------------|-------------------|--------------------|
| I 事業活動収支の部 | | | |
| 1. 事業活動収入 | | | |
| 会費収入 | 16,369,000 | 19,869,000 | △ 3,500,000 |
| 正会員会費収入 | 9,409,000 | 11,900,000 | △ 2,491,000 |
| 学生会員会費収入 | 420,000 | 1,116,000 | △ 696,000 |
| 学部生会員会費収入 | 20,000 | 23,000 | △ 3,000 |
| 外国会員会費収入 | 30,000 | 160,000 | △ 130,000 |
| 準会員会費収入 | 1,440,000 | 1,470,000 | △ 30,000 |
| 賛助会員会費収入 | 5,050,000 | 5,200,000 | △ 150,000 |
| 会報刊行収入 | 2,540,000 | 6,060,000 | △ 3,520,000 |
| 頒布収入 | 2,420,000 | 2,440,000 | △ 20,000 |
| 広告料収入 | 120,000 | 120,000 | 0 |
| 著者負担金収入 | 0 | 3,500,000 | △ 3,500,000 |
| 事業収入 | 9,837,000 | 11,911,000 | △ 2,074,000 |
| 大会運営収入 | 5,750,000 | 6,930,000 | △ 1,180,000 |
| 部会収入 | 2,164,000 | 1,511,000 | 653,000 |
| 談話会・研究会収入 | 1,443,000 | 2,740,000 | △ 1,297,000 |
| 教育プログラム収入 | 480,000 | 730,000 | △ 250,000 |
| 雑収入 | 252,000 | 252,000 | 0 |
| 預金利息収入 | 2,000 | 2,000 | 0 |
| 雑収入 | 250,000 | 250,000 | 0 |
| 事業活動収入計 | 28,998,000 | 38,092,000 | △ 9,094,000 |
| 2. 事業活動支出 | | | |
| 会報刊行費支出 | 9,010,000 | 15,240,000 | △ 6,230,000 |
| 印刷製本費支出 | 4,910,000 | 11,160,000 | △ 6,250,000 |
| 編集費支出 | 4,100,000 | 4,080,000 | 20,000 |
| 事業支出 | 10,995,000 | 13,100,000 | △ 2,105,000 |
| 大会支出 | 5,450,000 | 6,930,000 | △ 1,480,000 |
| 部会支出 | 2,800,000 | 2,140,000 | 660,000 |
| 談話会・研究会支出 | 1,835,000 | 3,170,000 | △ 1,335,000 |
| 教育プログラム支出 | 910,000 | 860,000 | 50,000 |
| 学術奨励関係費支出 | 710,000 | 730,000 | △ 20,000 |
| 国際学術交流費支出 | 300,000 | 150,000 | 150,000 |
| 情報電子化費支出 | 1,049,000 | 810,000 | 239,000 |
| HP 充実費支出 | 400,000 | 430,000 | △ 30,000 |
| 情報維持費支出 | 649,000 | 380,000 | 269,000 |
| 男女共同参画支援費支出 | 200,000 | 0 | 200,000 |

| | | | |
|-----------------------|------------|-------------|-------------|
| 負担金支出 | 640,000 | 640,000 | 0 |
| 男女共同参画学協会連絡会負担金支出 | 10,000 | 10,000 | 0 |
| JABEE 負担金支出 | 50,000 | 50,000 | 0 |
| 日本農学会負担金支出 | 120,000 | 120,000 | 0 |
| 植物保護科学連合負担金支出 | 50,000 | 50,000 | 0 |
| 日本微生物学連盟負担金支出 | 100,000 | 100,000 | 0 |
| 国際植物保護科学会負担金支出 | 50,000 | 50,000 | 0 |
| 国際植物病理学会 (ISPP) 負担金支出 | 260,000 | 260,000 | 0 |
| 事業運営費支出 | 920,000 | 1,720,000 | △ 800,000 |
| 会議費支出 | 250,000 | 400,000 | △ 150,000 |
| 旅費交通費支出 | 200,000 | 750,000 | △ 550,000 |
| 各種委員会関係費支出 | 470,000 | 570,000 | △ 100,000 |
| 管理費支出 | 5,005,000 | 5,129,000 | △ 124,000 |
| 通信運搬費支出 | 300,000 | 400,000 | △ 100,000 |
| 消耗品費支出 | 180,000 | 150,000 | 30,000 |
| 事務管理費支出 | 3,190,000 | 3,190,000 | 0 |
| 印刷費支出 | 150,000 | 99,000 | 51,000 |
| 外部監査管理費支出 | 300,000 | 300,000 | 0 |
| 雑支出 | 885,000 | 990,000 | △ 105,000 |
| 事業活動支出計 | 28,829,000 | 37,519,000 | △ 8,690,000 |
| 事業活動収支差額 | 169,000 | 573,000 | △ 404,000 |
| II 投資活動収支の部 | | | |
| 1. 投資活動収入 | | | |
| 投資活動収入計 | 0 | 0 | 0 |
| 2. 投資活動支出 | | | |
| 特定資産取得支出 | 0 | 5,000,000 | △ 5,000,000 |
| 学術事業安定化基金 | 0 | 5,000,000 | △ 5,000,000 |
| 学術奨励基金 | 0 | 0 | 0 |
| 国際学術交流基金 | 0 | 0 | 0 |
| 固定資産取得支出 | 0 | 0 | 0 |
| 投資活動支出計 | 0 | 5,000,000 | △ 5,000,000 |
| 投資活動収支差額 | 0 | △ 5,000,000 | 5,000,000 |
| III 財務活動収支の部 | | | |
| 財務活動収支差額 | 0 | 0 | 0 |
| 当期収支差額 | 169,000 | △ 4,427,000 | 4,596,000 |
| 前期繰越収支差額 | 11,838,277 | 14,683,372 | △ 2,845,095 |
| 次期繰越収支差額 | 12,007,277 | 10,256,372 | 1,750,905 |

3. 学会報編集計画案

(1) 編集機関

学会報第 89 巻の編集は、英文誌 (Journal of General Plant Pathology), 和文誌 (日本植物病理学会報 Japanese Journal of Phytopathology) とともに下記のように東北大学にて行う。

編集事務局: 東北大学大学院農学研究科

編集委員長: 高橋英樹 (東北大学)

編集副委員長: 長谷 修 (山形大学)

編集幹事長: 宮下脩平 (東北大学)

印刷: 英文誌 Springer Nature Singapore Pte Ltd.
和文誌 中西印刷 (株)

発行日: 英文誌 1号1月, 2号3月, 3号5月,
4号7月, 5号9月, 6号11月
和文誌 1号2月, 2号5月, 3号8月,
4号11月

(2) 投稿要領

和文誌原稿は、投稿規定・細則にしたがって作成し、本文及び表・図の電子ファイル、必要事項を記入した和文投稿票ファイル*を付して、編集委員会 (jgpp-jjp@grp.tohoku.ac.jp) 宛に電子メールで送付すること。

(*投稿票ファイルは https://www.ppsj.org/journal-submission_procedure.html よりダウンロードすること)

英文誌については、ウェブサイト <https://www.editorialmanager.com/jgpp/> にアクセスして投稿すること。

2022 年度第 3 回日本農学会運営委員会議事録

日時: 2022 年 12 月 7 日 (水) 15 時~16 時

場所: WEB 会議 (Zoom) 会議

出席者:

大杉 立会長, 大政謙次副会長, 渡部終五副会長, 佐藤秀一監事, 與語靖洋監事, 松元 哲 (園芸), 矢部和弘 (シス農), 楠本 大 (樹木医 (代)), 中村英光 (植調/農薬), 龍原 哲 (森計), 高橋輝昌 (森立), 岩田洋佳 (育種), 伏信進矢 (応糖), 大井田寛 (応動昆), 太田能之 (家禽), 羽佐田勝美 (国地開 (代)), 山田 智 (砂丘 (代)), 青木直大 (作物), 鈴木雅京 (蚕糸), 春原由香里 (雑草), 中川貴之 (獣医), 宮田伸一 (植病), 陣川雅樹 (森林 (代)), Mark Redo (水産 (代)), 塩出大輔 (水工), 海津 裕 (生環 (代)), 齋藤勝晴 (草地), 山本清龍 (造園), 山内啓太郎 (畜産/繁殖 (代)), 渡邊 学 (動遺育), 大塚重人 (土肥), 宍戸雅宏 (土微), 上吉原裕亮 (熱農), 濱崎孝弘 (気象), 松本浩一 (経営), 河野恵伸 (農経), 安達俊輔 (農作), 中谷朋昭 (フード), 前島勇治 (ペドロ (代)), 恒次祐子 (木材), 青木謙治 (木加工), 五月女格 (食料工),

荒木徹也 (農施), 石神靖弘 (農情), 吉田修一郎 (農村工), 牧野正男 (農計), 杉野弘明 (復興), 田中 亘 (林経), 黒住圭子 (事務担当)

欠席者:

堀田和彦 (実農), 土肥哲也 (生態), 宮部和幸 (地域経), 矢沢勇樹 (海水), 飯島健太郎 (芝草), 松田 幹 (農化), 吉田 誠 (木保存), 林 薫平 (有機), 落合 陽 (木質)

議長: 大杉会長

進行: 岩田庶務担当常任委員

議事:

- 2022 年度第 2 回日本農学会運営委員会議事録 (案) の承認について
- 2022 年度事業報告 (案)
- 2022 年度収支決算報告 (案)
- 2023 年度事業計画 (案)
 - シンポジウムテーマ・話題提供募集について
- 2023 年度収支予算計画 (案)
- 2023 年度社員総会および日本農学賞選考会について
- 日本農学会定款変更 (案)・定款規則変更 (案) について
- 2023 年度会員 (学協会代表者)・運営委員一覧
- 常任委員割当て表 (2023 年度担当学協会)
- 2023 年度日本農学賞受賞候補業績の推薦学会発表順の決定
- その他

議題に先立って大杉会長より挨拶があった。

議事 1. 2022 年度第 2 回日本農学会運営委員会議事録 (案) の承認について

岩田庶務担当常任委員より資料に基づき説明があった。

議事 2. 2022 年度事業報告 (案) について

岩田庶務担当常任委員より資料に基づき説明があった。

議事 3. 2022 年度収支決算報告 (案) について

松元会計担当常任委員より資料に基づき説明があった。

議事 4. 2023 年度事業計画 (案) について

岩田庶務担当常任委員より資料に基づき、第 94 回日本農学会大会の開催、2023 年度日本農学会シンポジウムの開催、2022 年度日本農学会シンポジウム講演要旨の公開、農学会第 22 回日本農学進歩賞の共催、各種委員会の開催、その他関連シンポジウムへの後援について説明があった。

(1) シンポジウムテーマ・話題提供募集について

松本企画担当常任委員よりシンポジウムの実施計画について資料に基づき説明があった。運営委員会に先立ち開催された理事会でタイトルは「激動する社会と農学」(仮)

とすることが決定された。今後、トピック（話題）提供を加盟学協会へ依頼することになった旨報告があった。

議事 5. 2023年度収支予算計画（案）について

松元会計担当常任委員より資料に基づき説明があった。また、岩田庶務担当委員会から2023年度会員数、分担金について年々会員数が減ってきている状況の説明があった。今後、収支の在り方についてこの10年の推移をみながら考えていくことが報告された。

議事 6. 2023年度社員総会および日本農学賞選考会について

岩田庶務担当常任委員より資料に基づき説明があり、今回も昨年同様オンラインで開催することになった旨報告があった。

議事 7. 日本農学会定款変更（案）・定款規則変更（案）について

岩田庶務担当常任委員より資料に基づき説明があった。山内運営委員（日本畜産学会）より、定款を変更するのであれば、定款第17条について「総正会員」「正会員」の表記について簡略化をすることを考えてはどうかとの意見がだされた。今後、理事会で検討して、総会に諮ることとなった。

議事 8. 2023年度会員（学協会代表者）・運営委員一覧

岩田庶務担当常任委員より資料に基づき説明があった。

議事 9. 常任委員割当て表（2023年度担当学協会）

岩田庶務担当常任委員より資料に基づき説明があった。2023年度は今年度に引き続き、日本熱帯農業学会、日本農業気象学会、日本農業経営学会の3学会と、新たに日本造園学会、日本水産学会、日本農芸化学会の3学会が加わることが報告された。

議事 10. 2022年度日本農学賞受賞候補業績の推薦学会発表順の決定について

岩田庶務担当常任委員よりあみだくじツールを利用して行うことの説明があり、岩田庶務担当常任委員の進行により抽選が進められた。厳正な抽選により以下のように推薦学会による発表順が決定され、12人の候補のうち、日本植物病理学会の発表は2番目となった。

10. その他

岩田庶務担当常任委員から、3名（岩田庶務担当常任委員、松元会計庶務担当常任委員、玉井企画担当常任委員）は運営委員会への出席はこれが最後となる旨報告があった。